

しろくま通信



先週から福岡県福岡市箱崎にある『筥崎宮』について書いています。

さて、神社仏閣は通常どちらを向いているのでしょうか。

多くは、南を向いています。この理由は【天子（皇帝）南面す】という風水の思想が神社創建にあるからです。風水では東西南北それぞれの方角に、青龍・白虎・朱雀・玄武という 4 柱の神が置かれ、中央の土地を守護してくれます。そして、土地を活性化してくれる「気」が必要になります。これは龍脈とも言われ山の尾根を伝って流れてきます。つまり、北側に山があって、そこから流れてくる「気」を得て太陽のエネルギーを得やすい南を向いているのが理想的な訳です。



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<http://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！